

研究課題の募集：JGSS-2023

大阪商業大学 JGSS 研究センターでは、下記の要領で研究課題を募集します。
ご応募をお待ちしています。

1. 募集の目的

JGSS 研究センターでは、JGSS-2023 に組み込む研究課題を募集します。

2021 年 1 月から 3 月に実施した JGSS-2021H と 2022 年 1 月から 2 月に実施した JGSS-2022H では、JGSS の継続設問（2000 年以降毎回、時々および 2012 年以降毎回組み込んでいる設問）に加えて、健康や COVID-19 に関する設問（European Social Survey と比較可能な設問を含む）を組み込みました。

COVID-19 が社会に与える影響は、感染拡大から 2 年以上が経過してフェイズが変化しているため、JGSS-2021H と 2022H の調査票からは大きく変更を加えて、JGSS-2023 には、ESS と比較可能な設問を新たに公募して組み込むことが決まっています。

行動制限の緩和が進む中、徐々に日常の生活を取り戻しつつありますが、これまでの生活様式は大きく変化しています。コロナ禍で加速するデジタル化が人々のコミュニケーションにはどのような影響を与えるのかという日常生活への影響に加えて、ウクライナ危機で問われる民主主義の行方にも注目しています。上記を踏まえて、JGSS-2023 には、ESS と比較可能な設問、デジタルコンタクト（家庭/仕事）、デジタル格差、民主主義に関連する設問を公募して組み込みます。ESS（2020：Round10）の該当設問群が対象となります。

本センターでは、研究課題を広く募ることにより、調査内容を充実させるとともに、全国調査・国際比較調査の企画に参加する機会を多くの研究者に広げることを目指しています。優れたアイデアをご提案いただければ、調査票を練る本センターでの研究会にご参加いただき（旅費支給）、調査実施後には、信頼性の高い調査データで研究を進めていただくことができます。ふるってご応募ください。

<研究課題のテーマ>：

・ European Social Survey の設問群（デジタルコンタクト（家庭/仕事）、デジタル格差、民主主義）にかかわる研究課題

<参考資料>

・ ESS（2020）の調査票

問 G1 - G61：デジタルコンタクトに関する設問群

問 D1 - D28e：民主主義に関する設問群

https://stessrelpubprodwe.blob.core.windows.net/data/round10/fieldwork/source/ESS10_source_questionnaires.pdf

2. JGSS-2023

■ 調査時期：2023 年 1 月末～2 月末

■ 調査対象：日本全国 20～89 歳男女 2,700 人(予定)

■ 調査方法：留置調査票

■ 抽出方法：層化 2 段無作為抽出（180 地点）

参考：JGSS-2021H/JGSS-2022H の調査方法

調査名	JGSS-2021H	JGSS-2022H
実施時期	2021年1月～3月	2022年1月～2月
調査方法	留置法	留置法
調査対象	20～89歳の男女	20～89歳の男女
抽出方法	層化2段 無作為抽出	層化2段 無作為抽出
計画標本	A票：3,300 B票：3,300	A票：3,000 B票：3,000
有効回答数	A票：1,722 B票：1,800	A票：1,564 B票：1,581

3. 応募資格

大学その他の研究機関の研究者、または大学院生

4. 研究課題の資料となる設問の選択に際しての留意事項

- 調査票のスペースに限りがあるため、追加できる設問は1問または2問で、上限は3分の1ページ程度になります。
- 国際比較調査であると同時に、幅広い年齢層の男女を対象にすることを考慮してください。限定的な人々についてしか当てはまらない設問は採択の可能性が低くなります。
- 設問案については、日本語と英語の両方で記入してください。

5. 応募方法

応募用紙に、氏名、所属、連絡先、所属学会、研究課題、設問案、設問を挿入する目的、想定する分析、分析に必要な他の変数、参照文献・調査、JGSSデータの利用経験、これまでの調査経験を明記して、メールに添付して提出してください。

6. 受付期限及び提出先

- 受付締切：2022年7月31日（日）
- 提出先：大阪商業大学 JGSS 研究センター
E-mail: jgss@daishodai.ac.jp

7. 選考方法と発表

選考にあたっては、主催者において選考委員会を設け、審査・選考を行います。選考では、設問の内容だけでなく、調査票全体のバランスや他の設問との関連性を考慮します。

8. 採択者の義務

- JGSS 研究センターの共同研究者として、嘱託研究員（無給）（大学院生の場合は、JGSS 調査研究奨励プログラムに参加）することになります。
- 採択された設問に関連するデータのアフター・コーディングやクリーニングを担当していただくこともあります。
- 調査票全体のバランスや他の設問との関連から、質問文・選択肢の調整を行うことがあり、設問の調整・調査票の作成のために、大阪商業大学で行う研究会に参加していただくこともあります（旅費は支給します）。
- 採択された設問は、JGSS の調査票に帰属します（考案者の名前は明記しない）。
- 採択者は、データの一般公開前の特別利用が認められます。ただし、最初の成果は、JGSS 研究センターで開催する研究会で報告してください。

お問い合わせ：大阪商業大学 JGSS 研究センター

<https://jgss.daishodai.ac.jp> E-mail : jgss@daishodai.ac.jp

研究課題の募集：JGSS-2023 応募用紙

必要に応じ、枚数が増えても結構です。応募用紙は、メール添付にて送付ください。(宛て先 jgss@daishodai.ac.jp)

<日本語>

氏名：	所属・職/学年：
連絡先住所：	
電話：	E-mail：
所属学会：	

研究課題（タイトル）
設問案（質問文、選択肢などを具体的に） ※設問案は、日本語と英語の両方を記入してください。
設問を挿入する目的
想定する分析（分析に必要な変数を明記）
分析に必要な他の変数（JGSS に既存の変数）
参照文献・調査
JGSS データの利用経験（EASS データを含む）
これまでの社会調査の経験